

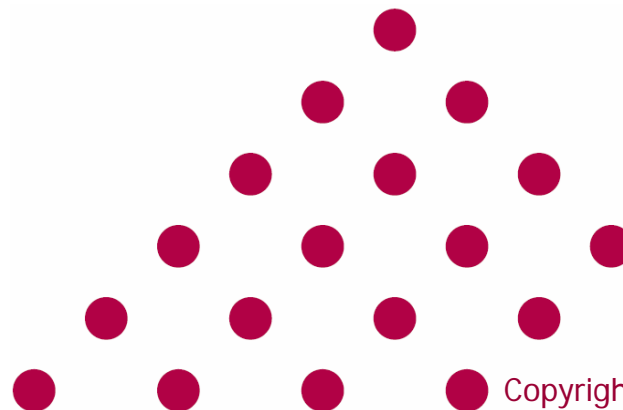


2008年3月期 決算説明会

<http://www.daiohs.com>

日本証券アナリスト協会

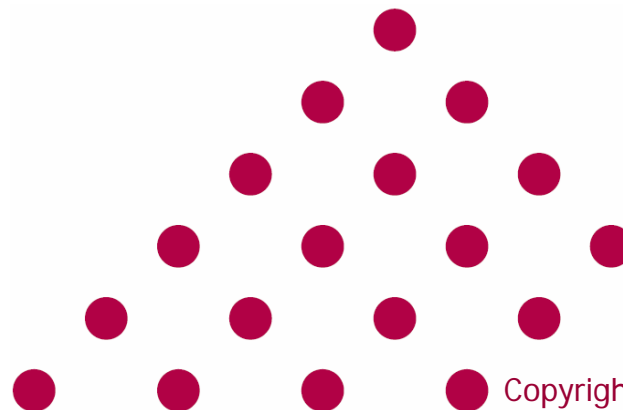
2008年5月15日発表





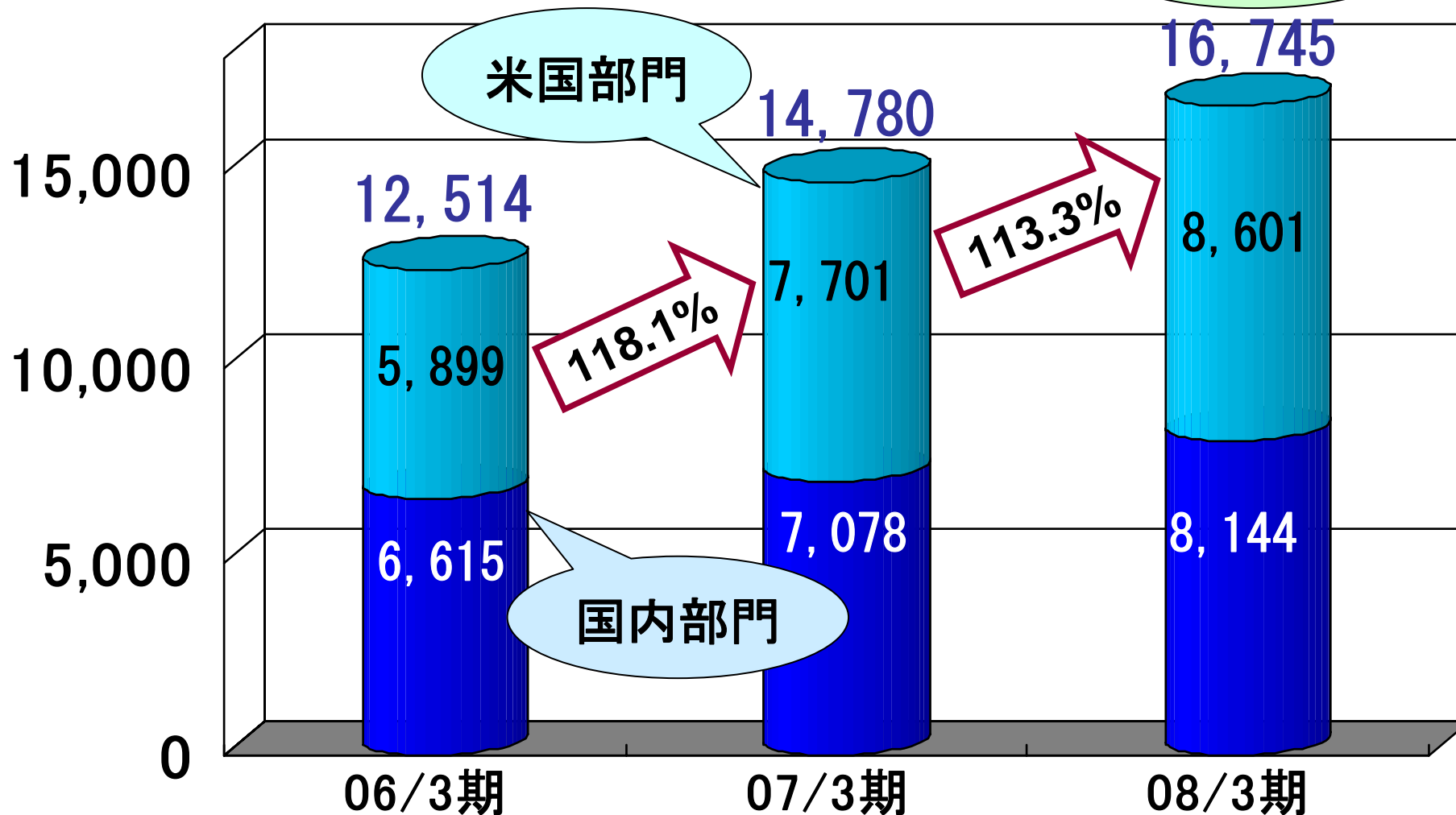
2008年(平成20年)3月期の 業績とトピックス

<http://www.daiohs.com>

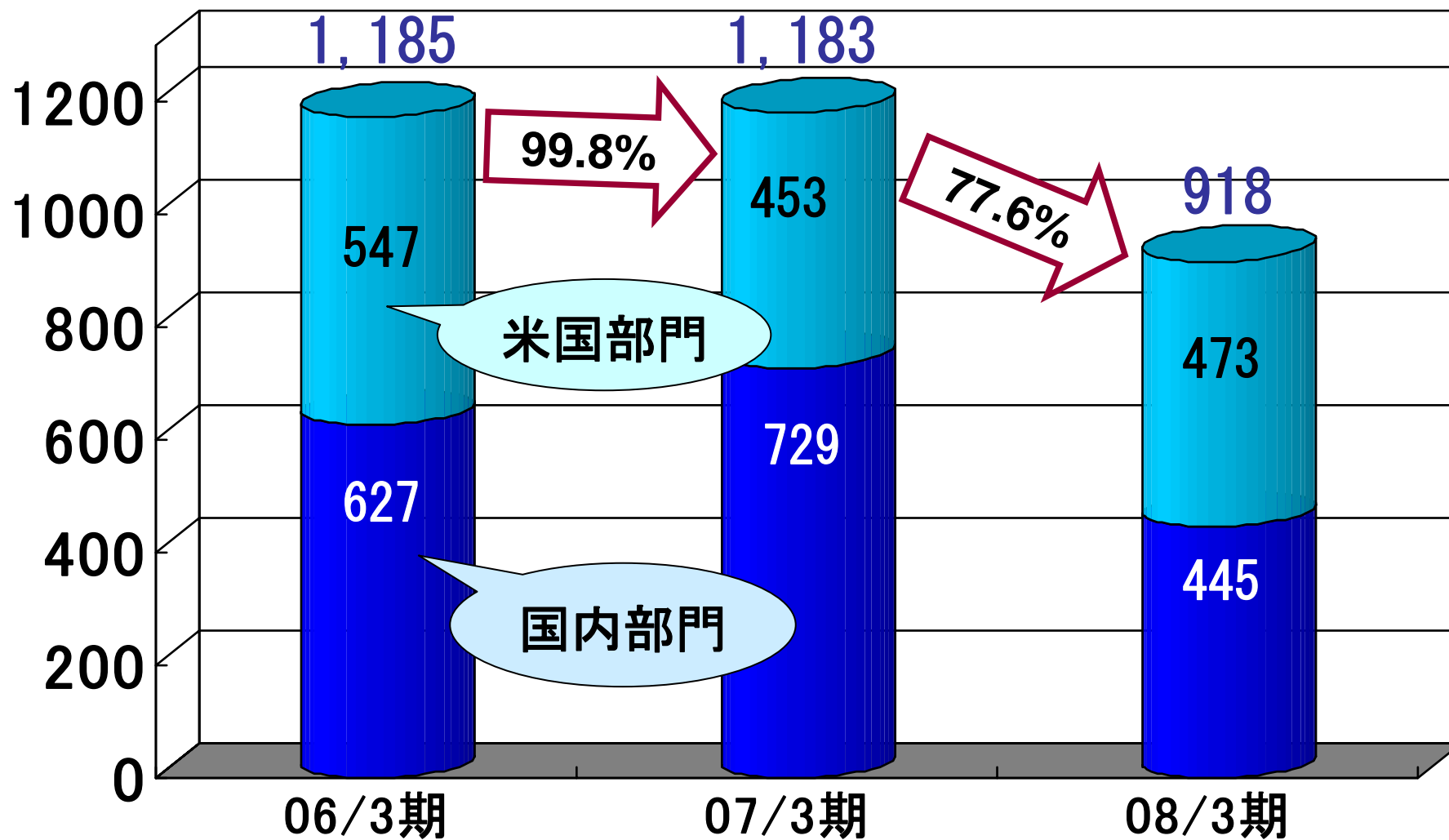


(単位:百万円)

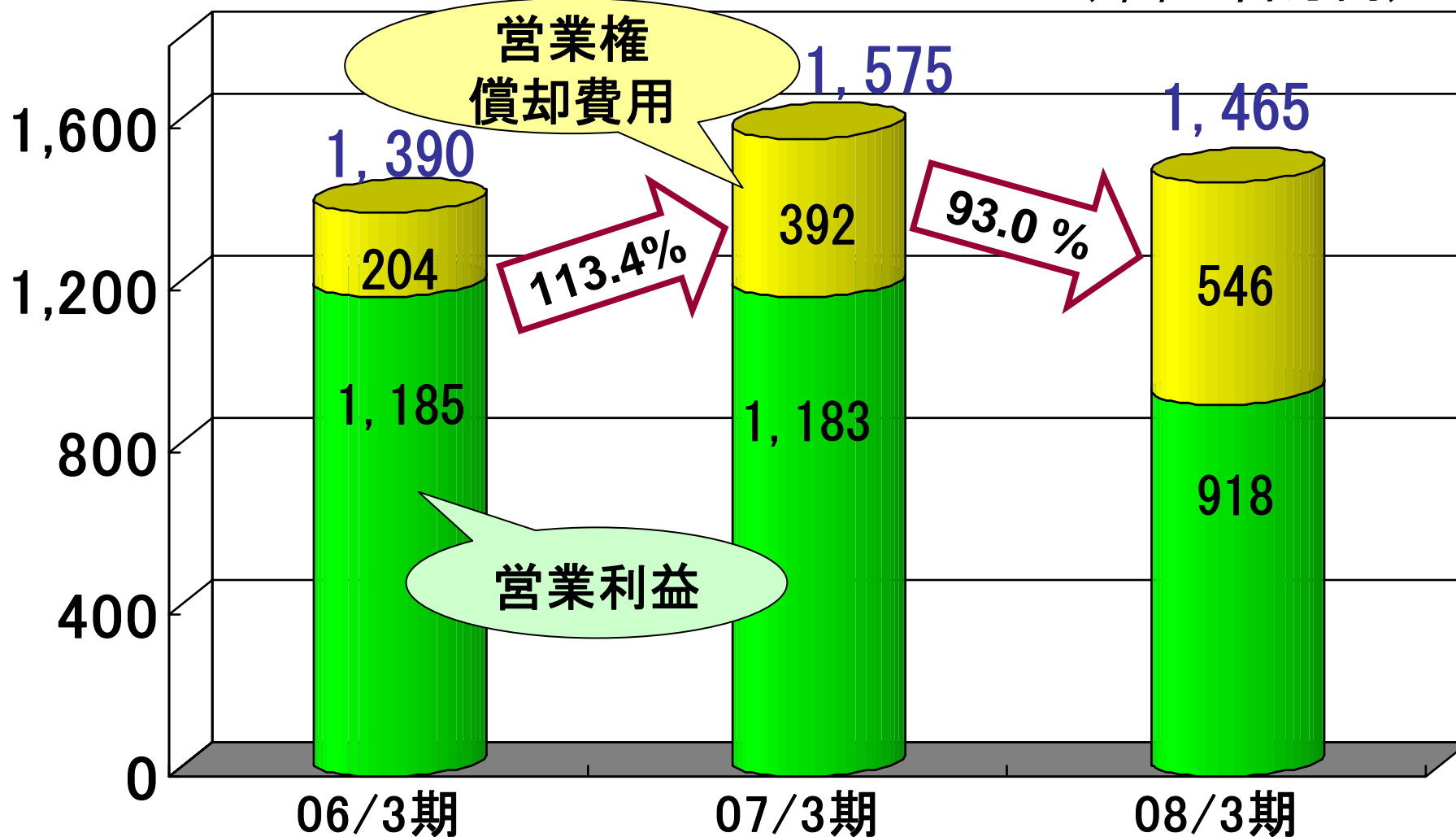
過去最高



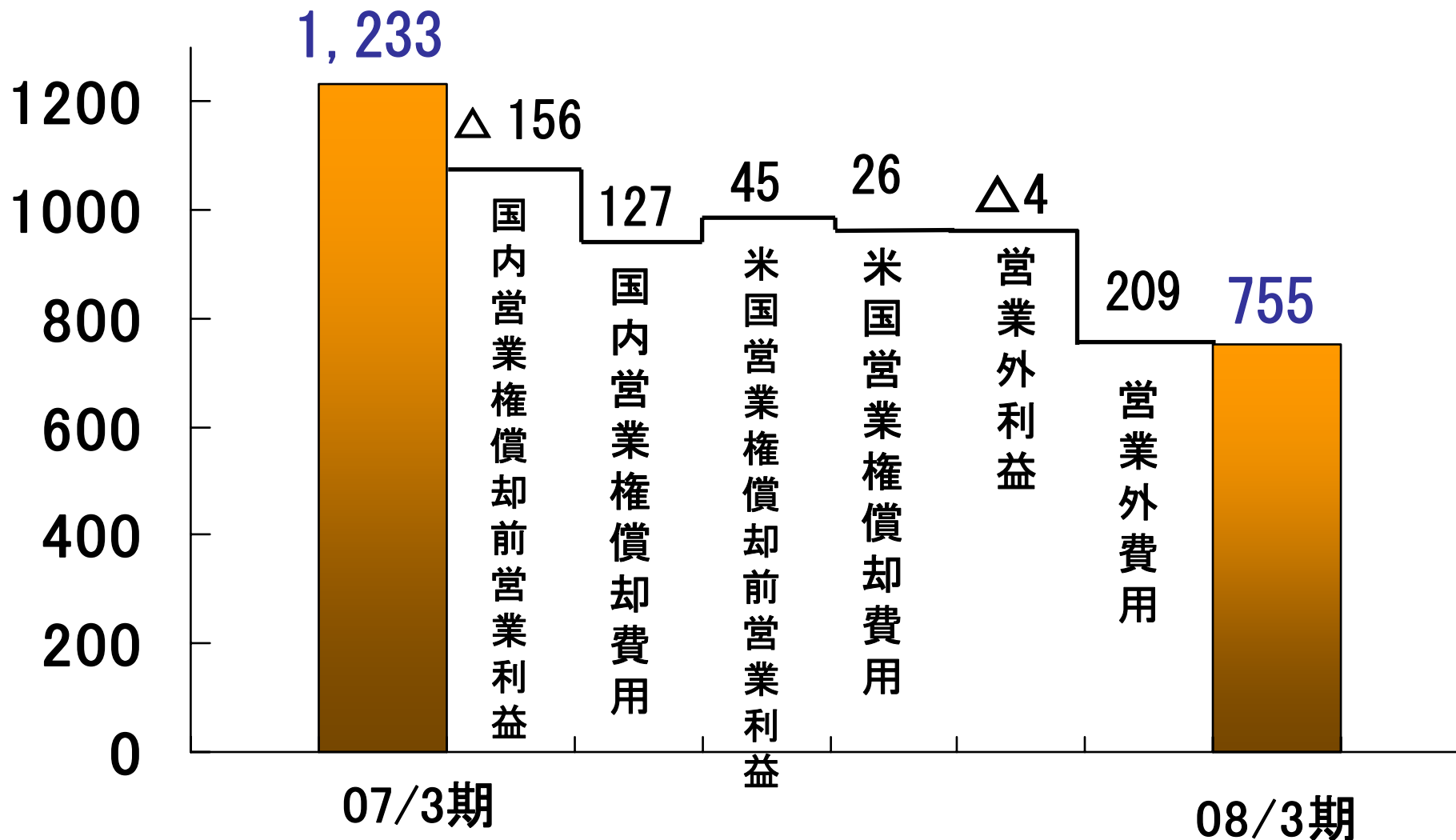
(単位: 百万円)



計算式 = 営業利益 + 営業権償却費用 (単位: 百万円)



(単位:百万円)



売上総利益の伸びを上回る販管費の増加

- (1) 大型M&Aによる人件費、諸経費の一時的な増加及びのれん償却費の発生
- (2) 新規開拓のための販売費増加

ドル建て営業利益は増益(前期比109.8%)
大幅ドル安のため、円表示利益額が減少

前期は特別利益(土地及び事業売却)を
計上

(単位：百万円)

	実績	前期比
売上高	16,745	113.3%
		売上比
営業利益	918	5.5%
経常利益	755	4.5%
当期純利益	298	1.8%
配当利回り	3.4% (5月14日終値ベース)	

マルキンオフィスオールとの事業統合

- オフィスコーヒー業界の大手であるマルキンオフィスオールと11月1日付で事業統合
- 東日本エリアにおけるシェアの拡大とピュアウォーター拡販のための顧客基盤強化
- 経験豊富な人材と扱い
機器・商品の拡充による
営業チャンスの増大



営業組織強化と生産性向上

- 上半期の4営業本部から下半期6営業本部に
- 北海道、東北に新たな営業本部を設置
- 首都圏の拠点統廃合と併せて、顧客サービス担当者の再編により大幅な生産性向上が可能に



ピュアウォーターの拡販

- 最優先拡販商品として引き続きピュアウォーターに注力
- 統合後のマルキンオフィスオール顧客に対する集中的クロスセリング
- 首都圏の第2工場立ち上げに向けて着工



五大湖地区における追加買収と拠点変更

- ミシガン州のリゾート地であるトラヴァースシティを売却する一方、同州第二の都市グランドラピッズ市に買収進出
- シカゴ、デトロイト両市場で追加買収を実施



本業特化の戦略

- シカゴ・デトロイトにおけるコンビニへのコーヒー販売やベンディング事業等の付帯事業を売却
- カリフォルニア州におけるファーストエイド(救急医療品)事業を好条件で売却
- オフィスコーヒーサービス事業を中核としたサービスに特化



リージョナル営業ネットワークの構築

- 従来からの地盤であるロッキー西側5州で堅調な利益成長
- 五大湖地区においてもシカゴ、デトロイト両拠点が利益軌道に乗る



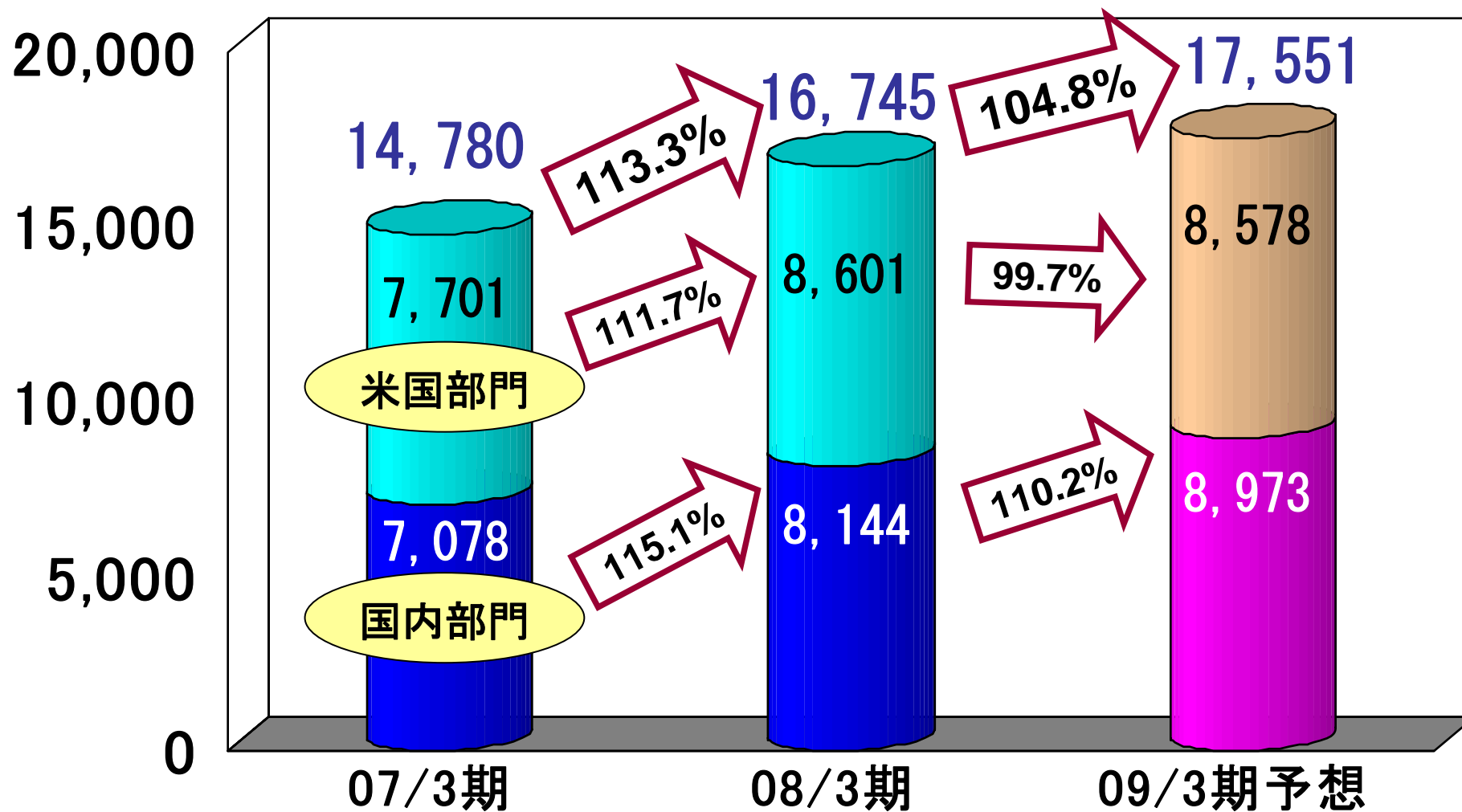


2009年(平成21年)3月期の 業績予想と重点政策

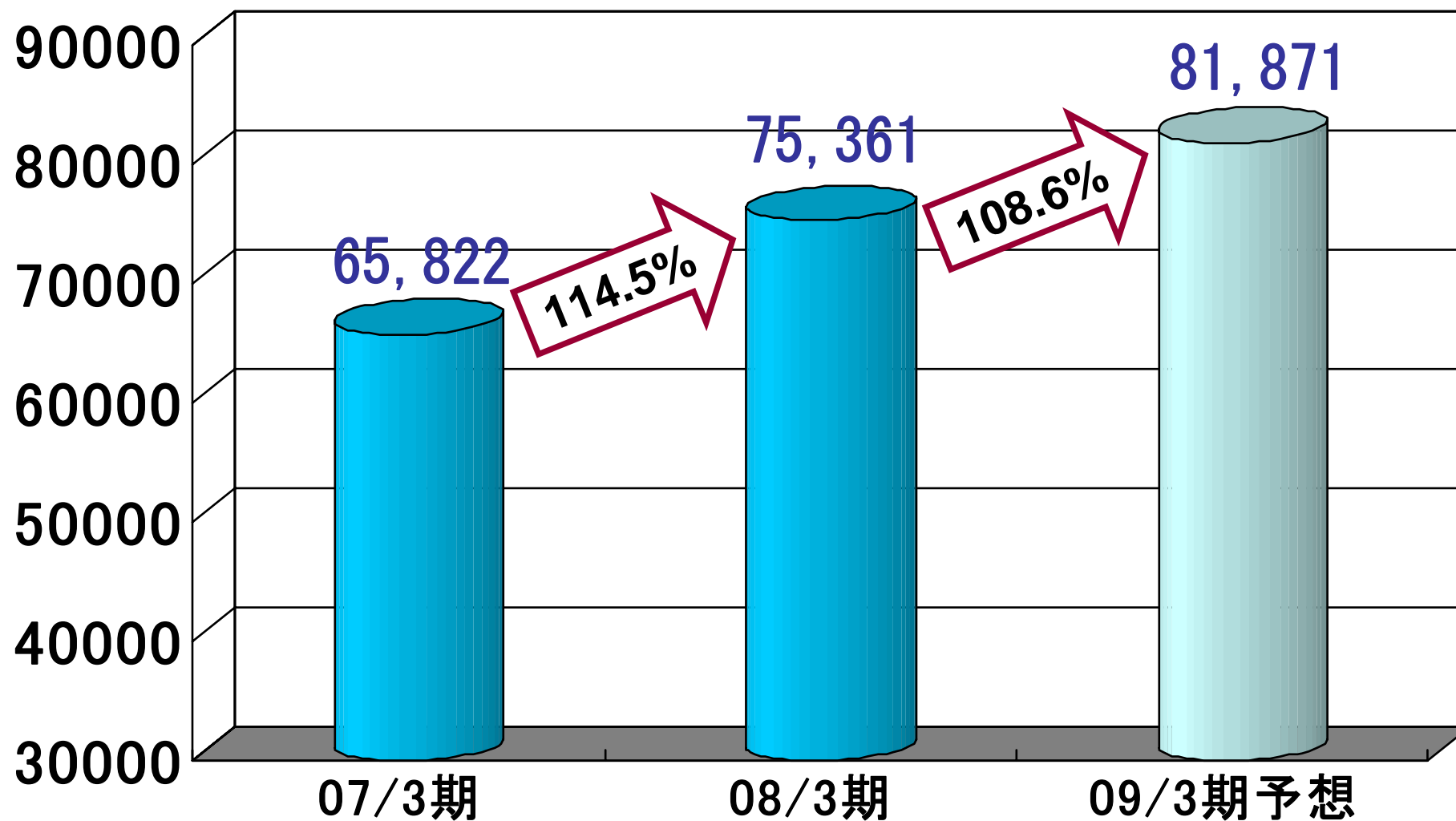
<http://www.daiohs.com>



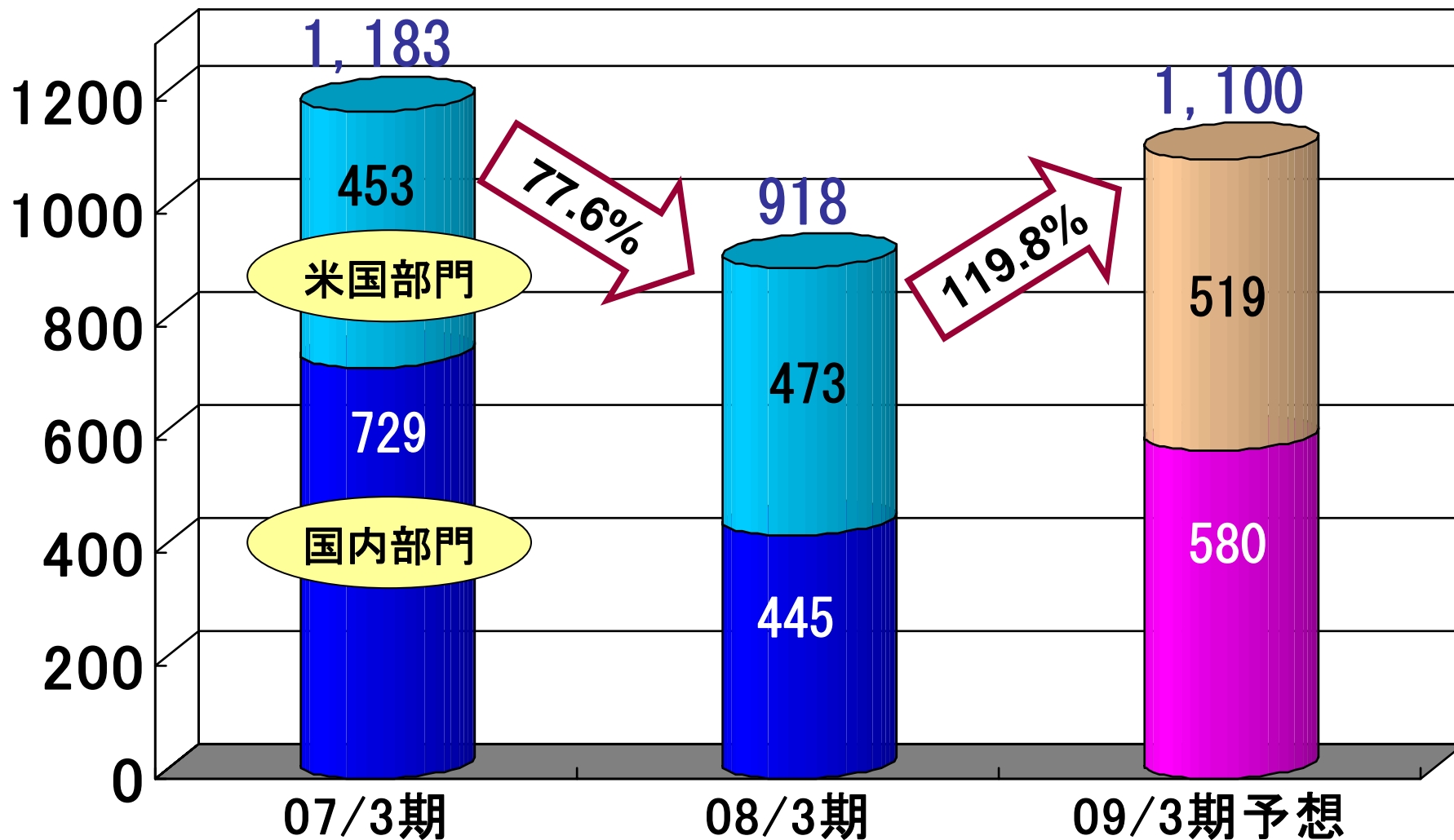
(単位:百万円)



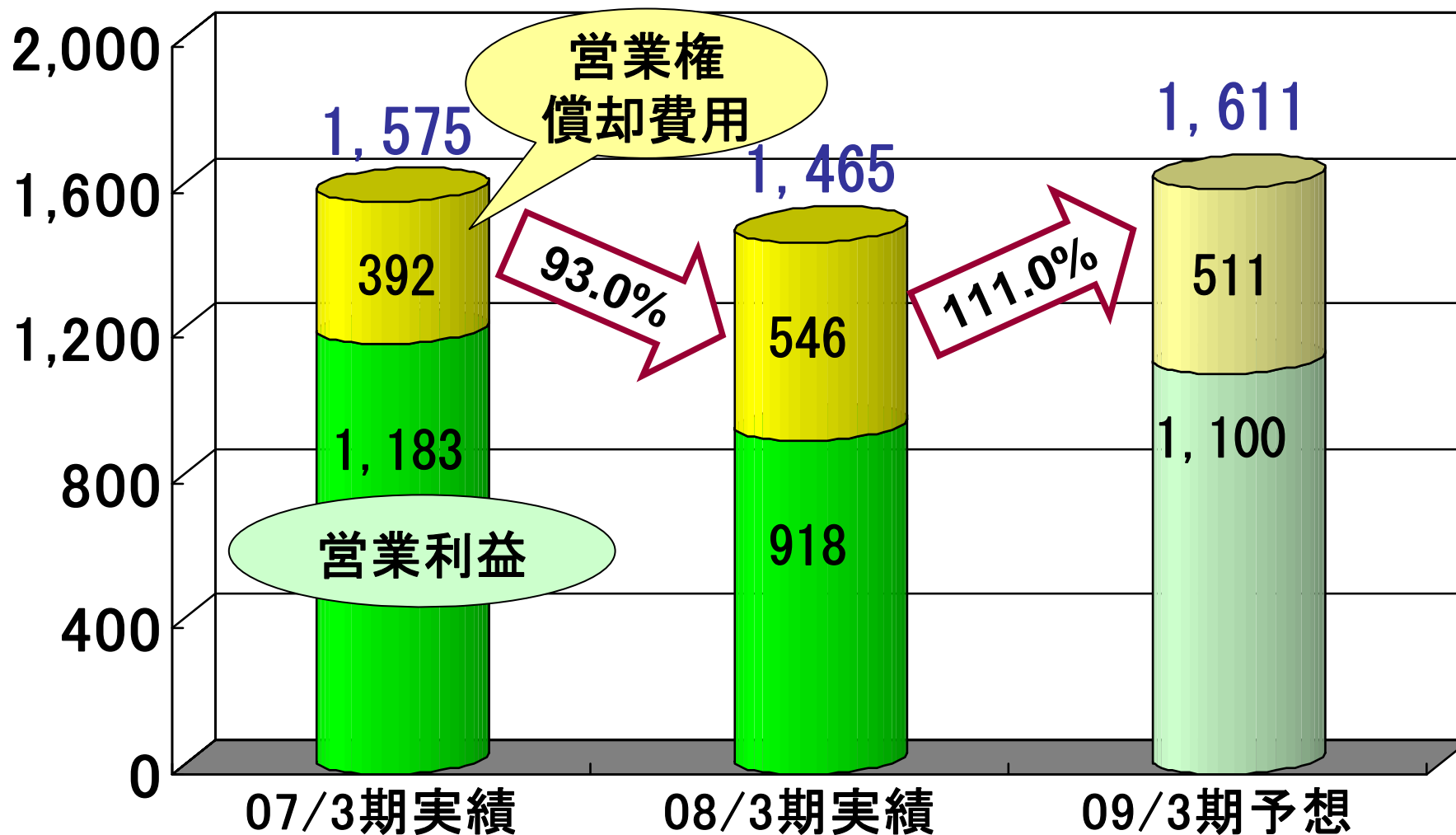
(単位:千米ドル)



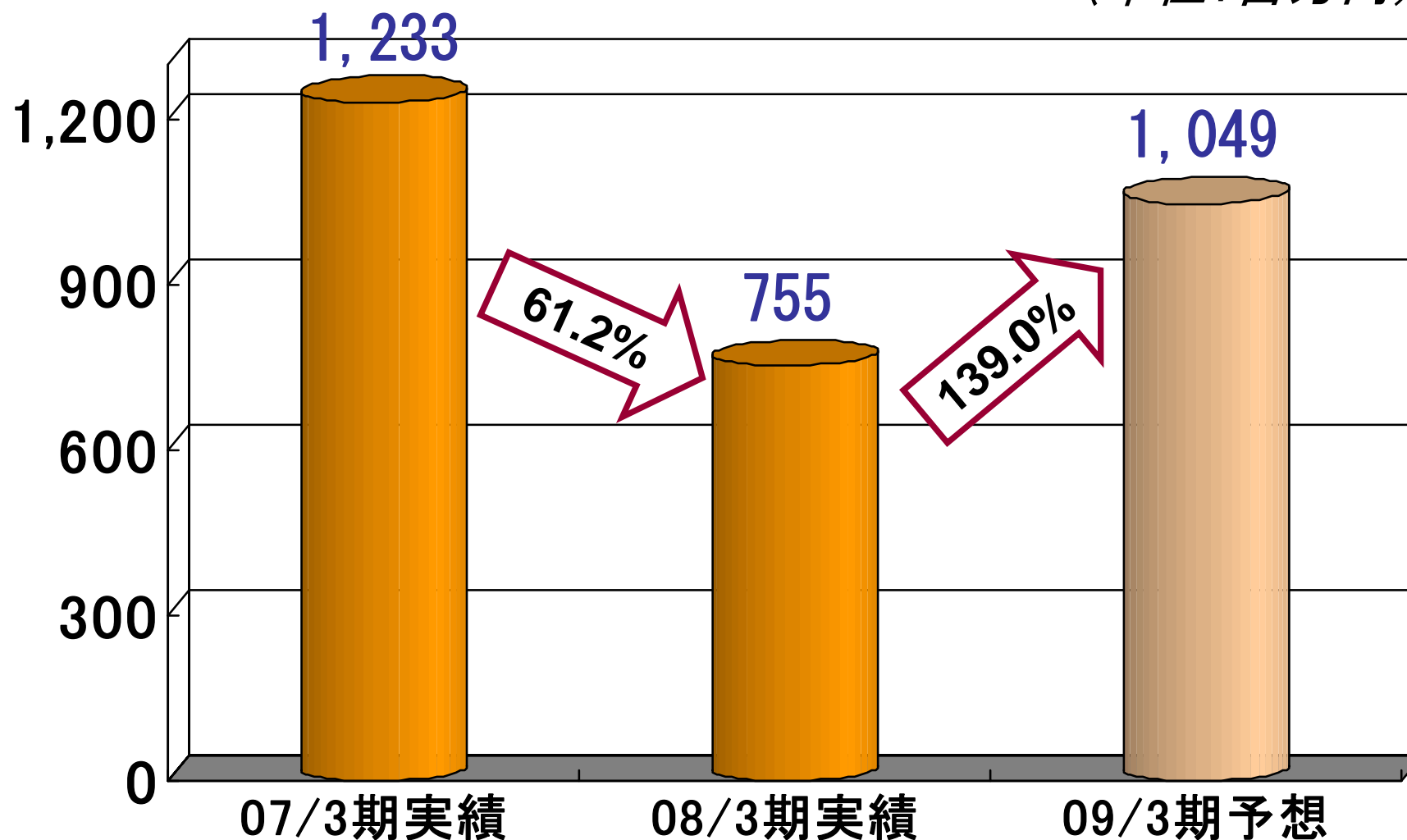
(単位: 百万円)

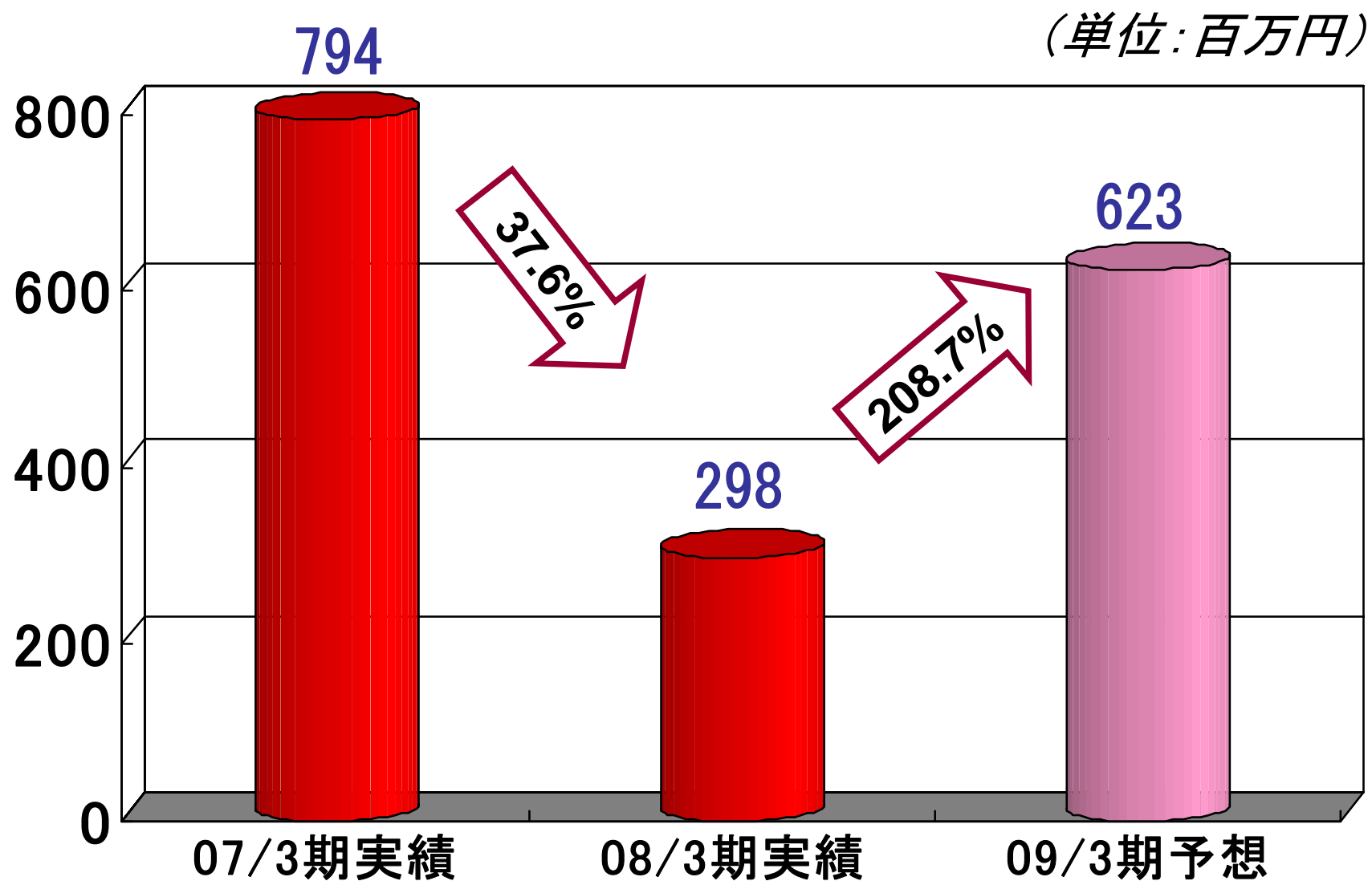


計算式 = 営業利益 + 営業権償却費用 (単位: 百万円)



(単位:百万円)





統合効果の最大化

- 拠点統廃合とサービス担当者の担当エリア再編による生産性の向上
- 機器・商品の継続した統廃合による品揃え拡充と品質向上



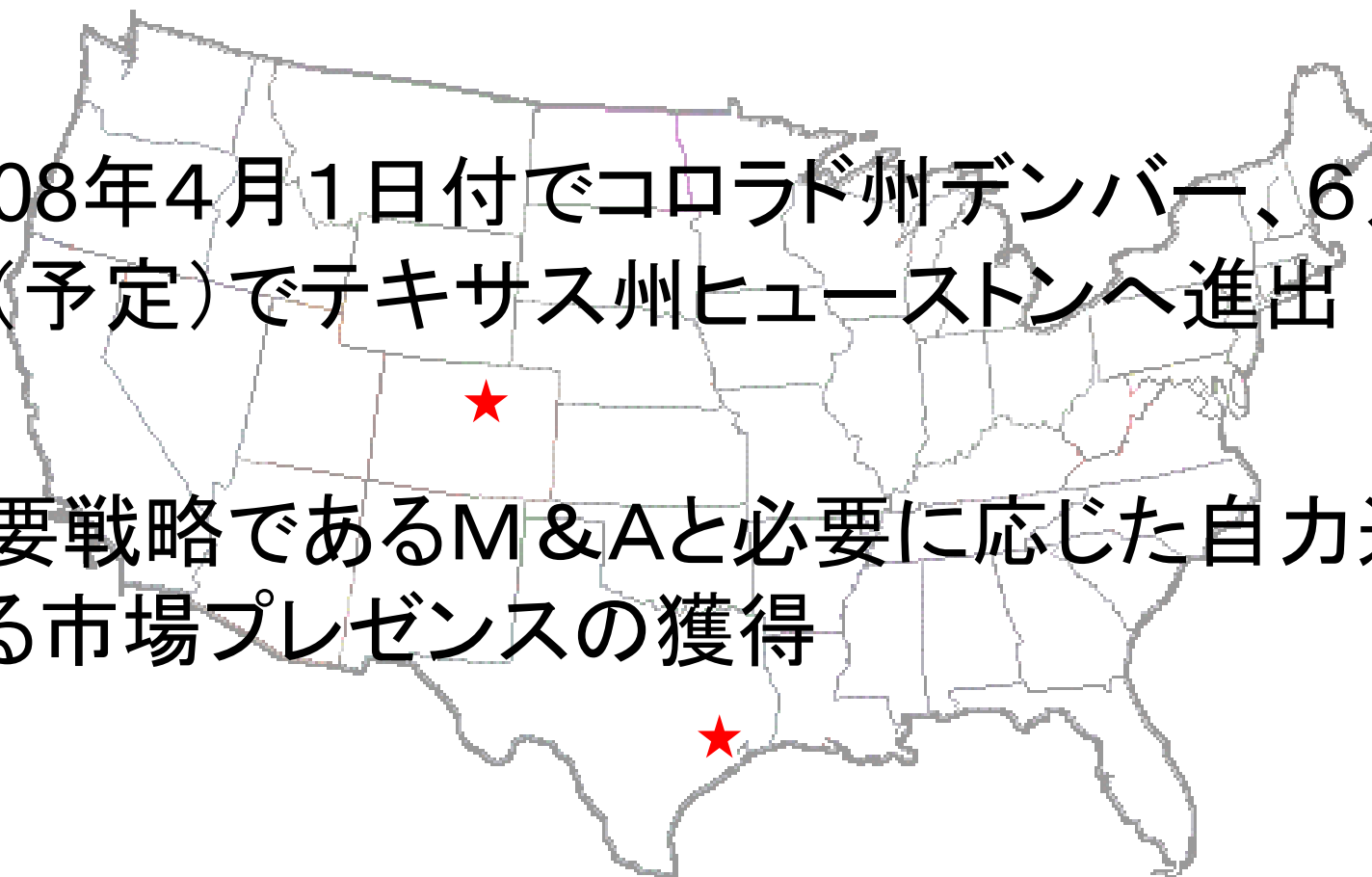
飲料サービス事業の拡充

- ピュアウォーターとコーヒーの組み合わせによる新たな飲料サービスの提案
- 基幹商品であるピュアウォーターとコーヒーに続く客単価アップのための「オプション商品」拡充



全米進出へのステップ

- 2008年4月1日付でコロラド州デンバー、6月1日付(予定)でテキサス州ヒューストンへ進出
- 重要戦略であるM&Aと必要に応じた自力進出による市場プレゼンスの獲得



人材確保

- 営業職の増員による積極的な自力成長
- 信頼関係の構築による優秀な管理職人材の増員



(単位：百万円)

前年比

売上高	17,551	104.8%
-----	--------	--------

売上比

営業利益	1,100	6.3%
------	-------	------

経常利益	1,049	6.0%
------	-------	------

当期純利益	623	3.6%
-------	-----	------

国内部門

- 従来型の営業活動に加えて、M&Aへの積極的な取り組みを行い、早期に国内100億円の達成・突破を実現すると同時に、新規顧客の増加と既存顧客へのサービス充実のために不可欠な「生産性」を向上させ、高収益体質をつくる。

米国部門

- 全米展開を目指し、高収益体制の確立によりその収益を再投資や新規地域開拓の原資として「成長と収益のバランス」をとっていく。

商号	株式会社ダイオース
証券コード	4653
設立	1976年5月31日
代表者	代表取締役社長 大久保 真一
本社	東京都港区浜松町二丁目4番1号 世界貿易センタービル23階
資本金	10億5,113万円(2008年3月31日現在)
事業内容	トータルオフィスサービス事業を営む連結子会社2社の純粋持株会社
売上高	167億4,551万円(2008年3月期 連結)
経常利益	7億5,503万円(2008年3月期 連結)
従業員数	922名(連結・フルタイムー換算)
決算期	3月31日



Daiohs

株式会社 **ダイオース**